

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		水・食料・生活必需品の備蓄					所管	総務部 危機・災害対策課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	98	計画事業名	避難者対策の推進			事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進									
		[小 柱] (4)安全・安心の充実強化									
		[施策] ③避難者・帰宅困難者対策									
	根拠法令等	法令(義務)		[法令等名]	災害対策基本法			[事業開始]	平成13年度		
	事業対象	一般区民等									
	事業目的	災害時における被災者の生命の安全を確保するとともに人心の安定を図るため、平常時より食料・生活必需品・資器材等の備蓄する。									
	事業内容	災害時、避難者に食料をはじめとする災害対策用物資・資器材を速やかに供給するために、防災備蓄倉庫及び避難所となる小・中学校等に備蓄する。									
委託の有無	一部委託		委託内容	災害時用医療セット詰替、埋設トイレ保守点検、備蓄品移動							
補助金の有無	なし										
事務事業の実績	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度			
	活動指標	災害対策用食料買入数		食	66,010	101,380	94,910	74,010			
		災害対策用備蓄食料数		食	359,217	356,216	361,120	359,217			
	決算額 (単位:千円)					76,686	47,752	50,512			
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				5,951	6,015	5,352			
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				67,289	47,498	50,256			
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				9,398	255	255			
		総経費				82,638	53,768	55,863			
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0			
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	5,486			
一般財源(区負担額)				82,638	53,768	50,377					
前回評価から改善した事項	備蓄品(LEDバルーン投光機、ベスト、組立式トイレ)の充実										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	災害時に備えた、食料・飲料水・生活用品・資器材等の備蓄は必要不可欠である。また、過去における震災の教訓から、備蓄品の見直しとともに充実が必要である。								
	効率性	3	価格と性能を検討し備蓄品を購入するなど、より一層効率的な備蓄に努めている。								
	手段の適切性	4	備蓄食料品等を、防災備蓄倉庫及び避難所へ備蓄し、適切に管理している。								
	目的達成度	4	地域防災計画に定める災害対策用食料の数値目標を達成している。								
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			
28年度は、保存期限到来品の入替とともに、LEDバルーン投光機、ベスト、組立式トイレの備蓄品3点を充実した。今後も地域防災計画などの修正により備蓄品の充実を図っていく。							維持				